

「熊本市殺処分ゼロプロジェクト」再考

郷 かおり

くまもと森都心プラザ図書館

1. はじめに

第20回ビジネス・ライブラリアン講習会において、私はワークショップ事前課題であったビジネス支援事業の企画として「熊本市殺処分ゼロプロジェクト」を提出した。これは、行政施設である熊本市動物愛護センター等と図書館が協力し、熊本市の掲げる犬猫の殺処分ゼロを目指すというものである。私のこの企画は、班の代表案になり、最終日のプレゼンテーションに臨んだ。講師の方々の様々な講評の中で、山崎講師からは「長期的ではあるが、啓発を行い、健全な振興を目指す事」という具体的な助言をいただいた。これを目標に、再度今回の企画について考察した。

2. 熊本市の犬猫殺処分ゼロの取り組み

熊本市の犬猫殺処分ゼロの取り組みは、平成14年（2002）に熊本市動物愛護センターで始まった。当時の熊本市動物愛護センターは、引き取った犬猫の殺処分を決まった曜日に獣医師等の職員で行っていた。動物の命を救いたくて獣医師になったのに、犬猫の殺処分をしたくないという職員たちの思いから殺処分ゼロの取り組みが始まり、それが広がって、今では熊本市長と熊本県知事のマニフェストにも掲げられ、熊本市の総合計画にも組み込まれている。

この取り組みは、犬猫を愛する人にしか関係ないように感じられるが、そうではない。猫は、繁殖能力が高く、メス猫1頭を不妊手術せずにいると、3年後には2000頭以上に増えてしまう。そうすると、ふん尿や、いたずらによる被害等で周辺の環境が悪化する為、住民全体の問題として捉えなければならない。

熊本市動物愛護センターは、職員やボランティア等の協力により、平成26年（2014）に初めて犬の殺処分ゼロを達成した。

しかし、未だに飼い主がペットの繁殖を管理できず、世話が行き届かない「多頭飼育崩壊」が熊本市でもほぼ毎年発生している。それらにより、熊本市動物愛護センターの収容数は満杯に近い状態になり、飼い主が見つからない場合は、殺処分されてしまう。

このように、熊本市動物愛護センターの取り組みだけではすべての熊本市民への啓発は難しいと感じ、図書館でも支援したいと考えた。

3. くまもと森都心プラザ図書館の現状

くまもと森都心プラザ図書館（以下、プラザ図書館）は、平成23年（2011）10月に、熊本駅から徒歩約3分の場所にオープンした。指定管理者で運営を行う6階建ての複合施

設、くまもと森都心プラザの3階と4階がプラザ図書館である。プラザ図書館には、地域住民をはじめとし、熊本駅を利用される社会人、学生、観光客、近隣の専門学校生や熊本市内外から多くの方々が来館される。

プラザ図書館4階には、あらゆるビジネス情報を集めたプラザコレクションがあり、ビジネスサイドとビジュアルサイドの2つに分かれている。ビジネスサイドは「業界年鑑」「統計」「白書」等の業界動向や各種データを揃え、ビジュアルサイドは、デザイン本やヴィンテージ絵本等、眺めるだけで創造力を刺激するような本を集めている。このプラザコレクションを中心に様々なビジネス情報を集め、日々、ビジネス支援を行っている。

また、4階には、ビジネス支援センターがあり、中小企業者・個人事業主・創業希望者等、すべてのビジネスに関わる方々の支援を行っている。ビジネス支援センターには、中小企業診断士等の相談員が常に常駐し、起業から経営相談まで幅広くアドバイスをを行っている。ビジネス支援センターには、創業を目指す方や、創業から1年以内の方が入居いただける創業支援室があり、専門家による継続的な助言や定期的なセミナー等の支援を受ける事ができる。プラザ図書館は、ビジネス支援センターの相談員や、創業支援室の入居者へのレファレンスサービスを、現在在籍している5人のビジネス・ライブラリアン中心に行っている。

それに加え、プラザ図書館では、様々な展示も行っている。

例えば、3階では、入口にある展示ケースを使用し、様々なテーマや話題を選んでプラザ図書館の資料へ誘う展示を行っている。他にも、熊本で活躍するアーティストの作品をプラザ図書館内に展示し、読書以外の目的で来館するお客様を呼び込む「アートを図書館に」という展示を行っている。その他にも様々な展示を行っているが、いずれも、展示をきっかけにプラザ図書館の本を手にとってもらえるような工夫がなされている。

そのような環境が整ったプラザ図書館でどのような支援ができるのか、以下にまとめてみた。

4. プラザ図書館での支援

- ①プラザ図書館の棚に熊本市動物愛護センターや保護団体のパンフレット等を設置し、動物愛護をテーマとした棚展示を行う
- ②殺処分ゼロの取り組みを始めた行政獣医師の講演会を開催
- ③熊本市動物愛護センターや、犬猫の保護と譲渡活動を行っているNPO法人、また、専門学校等のイベントに図書館として参加し、読み聞かせや本の紹介、パスファインダーの配布を行う。
- ④「熊本市わん・にゃんマップ（仮称）」の作成
- ⑤①～④までの取り組みを図書館のSNSで発信

①について、まずは図書館の外に出て、熊本市動物愛護センターや保護団体等との繋がりを作る。そして、その方たちの動物愛護活動を知ってもらう為に図書館にパンフレット等を設置する。

プラザ図書館という様々な方が来館される場所で行う事で、今まで熊本市動物愛護センターの取り組みを知らなかった方や、知ってはいたが具体的に考えた事のなかった方に多く周知できる。

私の企画案とは関係なく偶然ではあるが、現在プラザ図書館では「君のそばにある生命。」という展示（2021年3月1日～2021年3月28日）を行っている。熊本在住のクリエイター・sora氏の作品と、図書館の本のコラボレーションで、ペットのいのちをテーマにした展示である。このようにアートとコラボレーションした展示等もプラザ図書館では可能である。

また、パスファインダーも作成する。パスファインダーについては、命の大切さを伝えるようなものや、適正飼養に役立つものを考えているが、熊本市動物愛護センターの方たちに聞き取りを行った上で作成し、必要な情報を提供できるように努めたい。パスファインダーは、プラザ図書館に設置し、連携機関にも設置していただく。

②について、プラザ図書館では、普段、図書館を利用しない方でも興味を持っていただけるような講演会を行っている。普段のプラザ図書館のお客様以外の方に、熊本市動物愛護センターの取り組みを知っていただく良い機会となると思われる。

③について、熊本市動物愛護センターが行っている犬のしつけ教室や、ふれあい訪問教室に図書館も参加させてもらう事で、市民の方たちにしつけの本等の紹介を行う事ができる。ふれあい訪問教室は、対象が小中学生で、熊本市動物愛護センターの職員の方が作られた絵本の読み聞かせも行っているとの事である。その為、図書館も読み聞かせを行い、命の大切さを学ぶ事のできる本を紹介したいと考える。

島津講師は、創業系人材と接点を持つ方法として、動物系等の専門学校での課外授業の展開をあげられていた。動物系の専門学校は、将来の独立を意識した授業が行われているとの事である。熊本市の動物専門学校は、保護猫譲渡会等を行っている。図書館がそういった譲渡会等に参加させてもらい、動物専門学校との繋がりを持つ事で、将来的に創業支援にも発展するのではないかと考えた。

④について、「熊本市わん・にゃんマップ（仮称）」とは、熊本市の犬猫の保護・譲渡活動を行っているペットショップや雑貨屋、猫カフェ等を紹介したマップの事である。このマップに関してはグループ活動で出された案で、既存店舗等の取り組みを周知でき、また、集客促進にも期待が持てる為作成したいと考えた。

⑤について、プラザ図書館では、イベントや展示等をSNSで発信している。こちらも、普段プラザ図書館を利用された事がない方の目にも入る為、様々な方々に知っていただける事と思われる。

5. 事業の効果

この事業を行う事で、熊本市の目指す「犬猫の殺処分ゼロ」の取り組みに協力し「動物愛護及び適正な飼育の普及啓発」を今まで以上に進める事ができる。

その結果、熊本市動物愛護センターが掲げる「人と動物とが共存できる安全で安心なすみよいまちづくり」が実現するのではないだろうか。

そういったイメージが広く知られると、既存のペットビジネス等や新たなビジネスに関しても、殺処分ゼロの取り組みを意識したビジネスが広がっていき、いずれは健全な振興が図られていくものと思われる。

この事業は行政支援にあたるが、プラザ図書館がこのように行政支援を行う事ができると広く知られる事で、そこから新たなビジネス支援に繋がっていくのではないかと考える。

例えば、現在、ビジネス支援センター内の創業支援室に次のような方が入居されている。

事業内容 / エキゾチックアニマル（ハムスター、ウサギ、モルモットのペットカフェ及び実店舗、EC サイトでの飼育用品等の製造・販売

ハムスター等の、いわゆる「エキゾチックアニマル」は、犬や猫に比べ飼い始める際の初期投資が少なく鳴き声が小さく散歩が不要という手軽さから、子どもに買い与える親や、独り暮らしで飼う方も多い動物です。

しかし、実際には個体によって鳴き声の大きいものや運動が必要なものもあり、いざという時に受診できる動物病院にも限りがある、飼育の難易度が高い動物でもあります。私はこういった「エキゾチックアニマル」と、それを愛する人々が正しい関係を築き、動物たちが命をかけて教えてくれることをきちんと大切にできる場、環境を作りたいと考えペットカフェ及び飼育用品等の販売（製造）に取り組むべく創業を決意しました。¹

このように、既に、創業支援室に入居されている方の中にも、動物愛護に対する思いを持たれている方がいらっしゃる。熊本市は、「人と動物とが共存できる安全で安心なすみよいまち」であるというイメージが広く知られる事で、今後更に、こういった新たなペットビジネスを創業される方、NPO 法人を設立される方たちが増えていくのではないかと考える。その時は、図書館とビジネス支援センターが連携し、創業支援や必要な資料の提供を行う事ができる。

その為には、プラザ図書館でビジネス支援サービスを行っている事を広く知ってもら

必要がある。

島津講師は、日々の情報発信により、ビジネス支援サービスの認知度を上げていく事が大切であるとおっしゃった。

プラザ図書館では以前から SNS 等を活用し、展示やイベント、データベースセミナー等の告知や報告を行っている。

SNS 以外でも、図書館だより『ぼってん としょかんbattenn toshokann』に「ビジラク」というコーナーを設け、「ビジネスをもっと楽しく、そしてラクに」をコンセプトに、ビジネス支援サービスを身近に感じる事ができるような図書館の様々な活用方法を紹介している。今後もこのような情報発信を継続し、より多くの方たちにプラザ図書館のビジネス支援サービスを活用していただきたい。

6. おわりに

今回のビジネス・ライブラリアン講習会では、図書館が地域を支援する事の大切さを再認識した。グループ活動においても、同じグループの方たちの企画案はどれも素晴らしく、地域について真剣に考えている事が伝わってきた。また、私も真剣に地域の事を考えて、自分の企画を提出した。オンデマンド講義で豊田講師が「地域を支援する図書館が地域に支援される」とおっしゃったように、グループ活動に取り組んだ気持ちを忘れずに、地域を支援し、地域に支援される図書館を目指して日々の業務に励みたい。

¹ 創業支援室 創業支援室使用者のご紹介

<https://stsplaza.jp/business/bizstartup/>(参照 2021-03-19)

【参考文献等】

(1)熊本市動物愛護センター

<http://doubutsuaigo.hinokuni-net.jp/>(参照 2021-03-19)

(2)片野ゆか. 『ゼロ! 熊本市動物愛護センター10年の戦い』集英社, 2014

(3)大西一史 MANIFESTO 2018 熊本の未来を創る政策集

https://www.kazufumi.com/files/manifesto2018_120.pdf(参照 2021-03-19)

(4)蒲島郁夫 オフィシャルホームページ マニフェスト

<https://kabashimaikuo.com/manifest/>(参照 2021-03-19)

(5)熊本市第7次総合計画

https://www.city.kumamoto.jp/common/UploadFileDsp.aspx?c_id=5&id=24422&sub_i&file=200075(参照 2021-03-19)

(6)市政だより(2021).『動物の命を守り、住みやすいまちを作るために』vol.874
2月号,p.1-3.

(7)第20回ビジネス・ライブラリアン講習会資料

島津英昌.『ビジネス支援のための広報コミュニケーション講座』

豊田恭子.『アメリカ公共図書館サービス最新動向』